

阪神なんば線の開業効果について



阪神電気鉄道

位置図



阪神なんば線(新線区間)のルート



開業前のPR活動

看板



パンフレット



ホームページ



開業にあたっての営業施策

【阪神・近鉄お試しチケット】

阪神全線と近鉄奈良線(大阪難波～近鉄奈良間)が3/20～4/30の1日乗り放題で1,000円(小児500円)(阪神三宮～近鉄奈良間の大人通常片道運賃が940円(往復1,880円)のところ)。

発売は、2/20～3/19の前売りのみで、20,000枚(小児は2,000枚)限定。

【PiTaPa de お試し割引】

3/20～9/30に、PiTaPaカードで阪神なんば線新線区間(九条駅、ドーム前駅、桜川駅、大阪難波駅)を含むポストペイ乗車をされた方に対して、自動的に割引運賃を適用。

【新線定期購入キャンペーン】

3/13～5/10に、阪神なんば線新線区間(九条駅、ドーム前駅、桜川駅、大阪難波駅)を含むIC定期券、磁気定期券を購入された方に対し、抽選で、キッザニア甲子園招待券、タイガース戦ペア入場券などの賞品を進呈。

【新線定期券STACIAポイントボーナスキャンペーン】

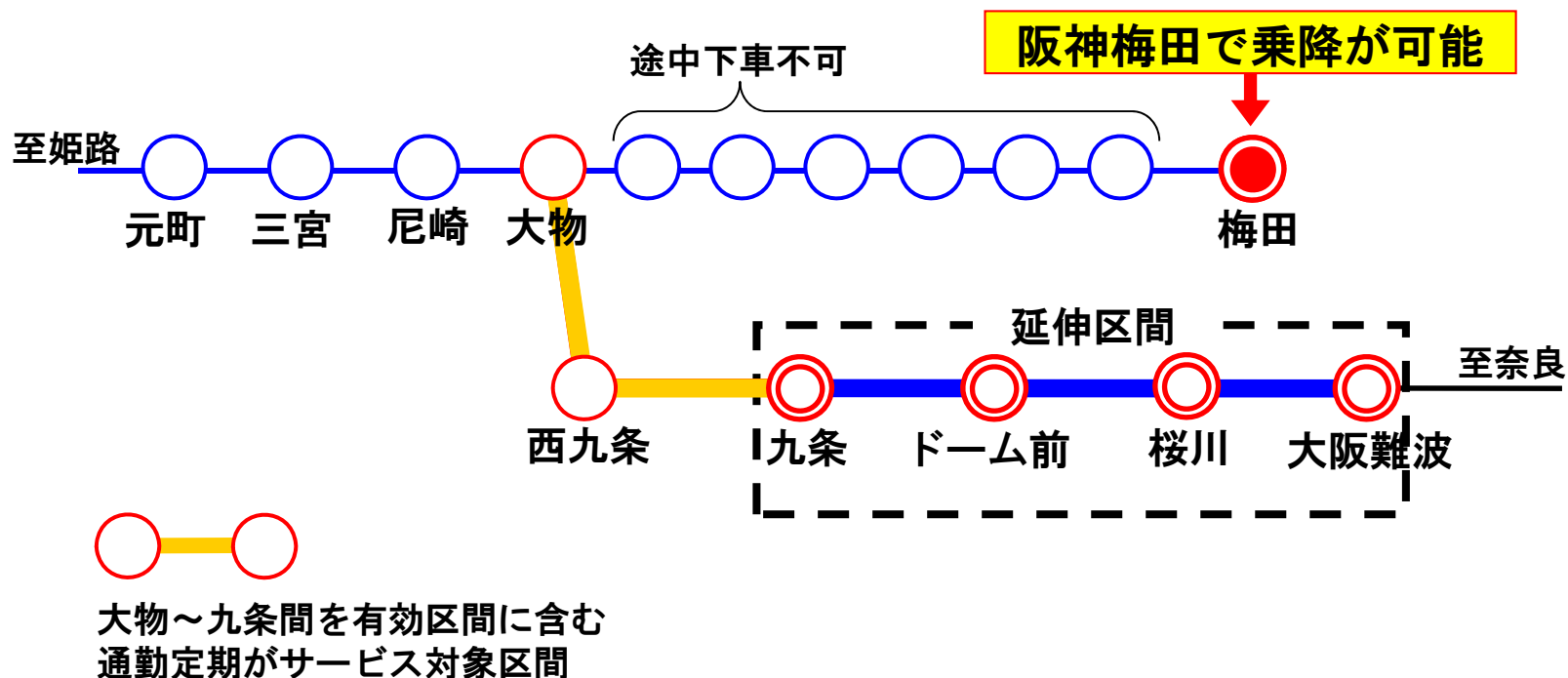
3/13～4/15に、新線区間を含むIC定期券、磁気定期券をSTACIA PiTaPaカードのクレジット決済及びPiTaPa決済で購入された方に購入額(当社線区間分のみ)に対する所定割合のSTACIAポイントを進呈。

その他、記念グッズの発売、スタンプラリーなど。

新規サービス「OSAKAどっちも定期」

「キタ」にも「ミナミ」にもアクセス！「OSAKAどっちも定期」

阪神本線(武庫川線を含む)各駅から阪神なんば線の新線区間各駅(九条、ドーム前、桜川、大阪難波)間の通勤定期(=大物～九条を有効区間に含む通勤定期)をお持ちのお客様は、阪神梅田駅での乗降も可能に！



開業後の営業施策

●開業1年目

【イベント列車「奈良エクスプレス」の運行】

三宮～奈良を運行、トラッキー、せんとかん、ミス奈良が乗車し石屋川車庫や甲子園駅でイベント実施

【記念ウォーク「古都ならの町並みぶらりウォーク」】

【相直1周年に合わせ「阪神-近鉄1dayチケット」や「記念グッズ」の発売】

その他、記念スタンプラリー、「OSAKAどっちも定期」購入キャンペーンなど

●開業2年目

【せんとかん平城京1日乗車券の発売】

【平城遷都1300年祭のPR】 梅田駅、三宮駅等にPRブースの設置

【奈良を歩く記念ウォーク】

【相直2周年記念 近鉄・阪神ハンドタオルの発売】

その他IC定期購入キャンペーンなど

●開業3年目

【ダイヤ改正の実施(平成24年3月20日)】

平日:快速急行の速達性向上・運行時間帯の延長

土休日:新開地発奈良行き快速急行の運行開始

【相直3周年記念スタンプラリーの実施】

阪神・近鉄計6駅をまわるスタンプラリーの実施

その他記念ウォークなど

阪神なんば線利用実績

●1日当り利用人員 *運輸成績ベース

	定期外(人)		定期(人)		合計(人)	
		増減率(%)		増減率(%)		増減率(%)
H21年度	33,663	—	24,238	—	57,901	—
H22年度	34,983	3.9%	29,386	21.2%	64,369	11.2%
H23年度	35,559	1.6%	32,105	9.3%	67,664	5.1%

●2種区間(西九条～大阪難波)運輸収入

H21年度 : 22.5億円

H22年度 : 24.7億円(対前年+9.8%)

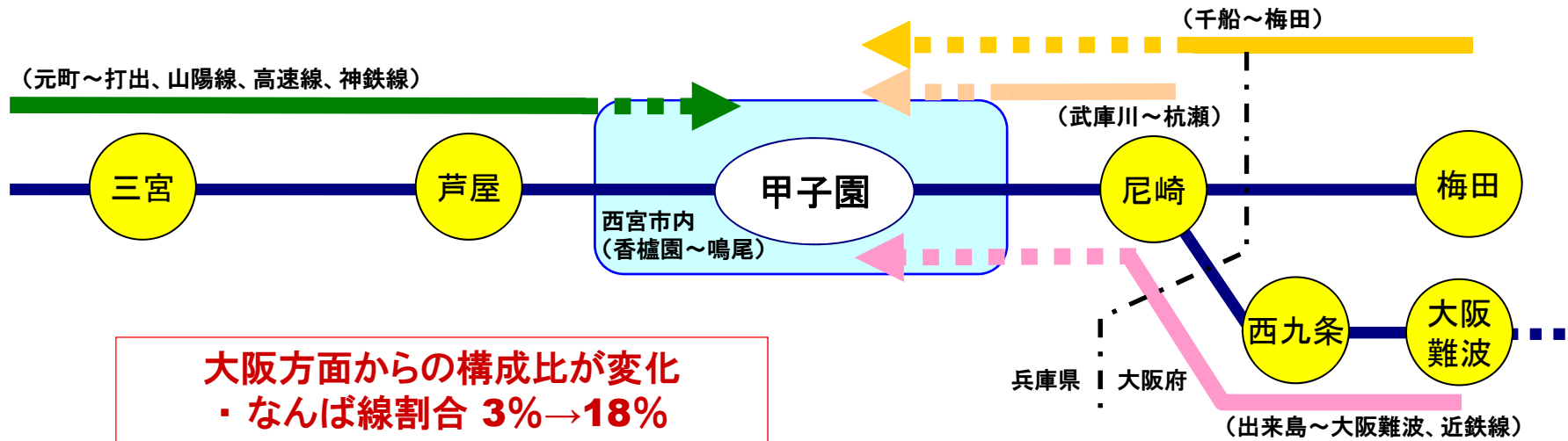
H23年度 : 25.9億円(対前年+5.1%)

●奈良方面への企画きっぷの発売実績(枚)

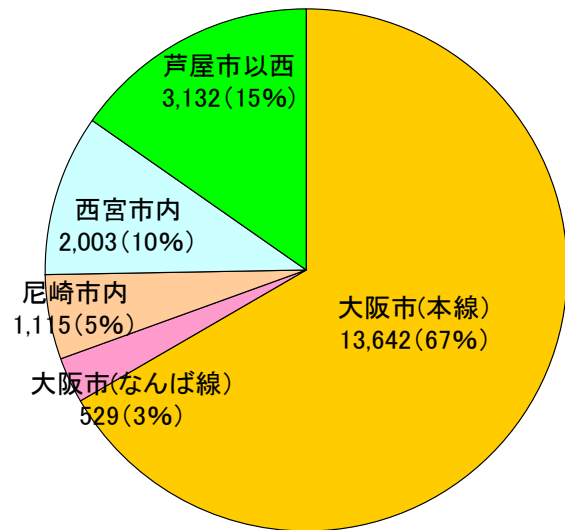
	平成20年度(*)	平成21年度	平成22年度	平成23年度
奈良斑鳩 1 dayチケット	5,263	42,238	25,261	26,725
せんとくん平城京一日乗車券	—	—	56,418	—
合計	5,263	42,238	81,679	26,725

*平成21年3月19日までは大阪市交通局経由での発売

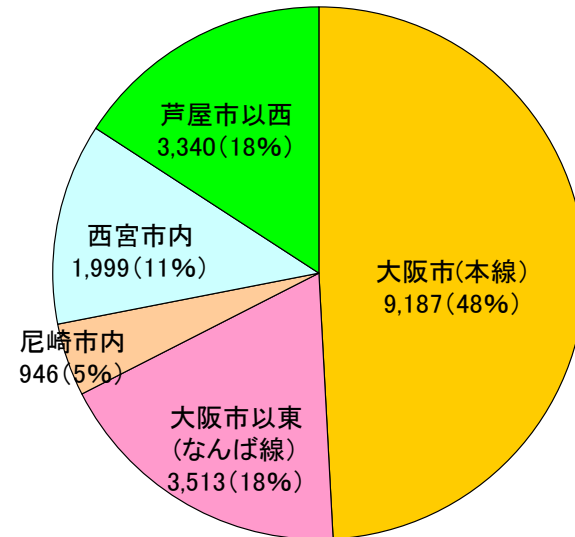
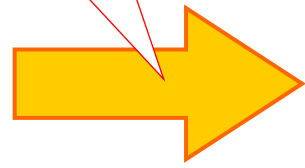
プロ野球開催時の利用人員変化(甲子園駅:定期外利用)



大阪方面からの構成比が変化
・なんば線割合 3%→18%

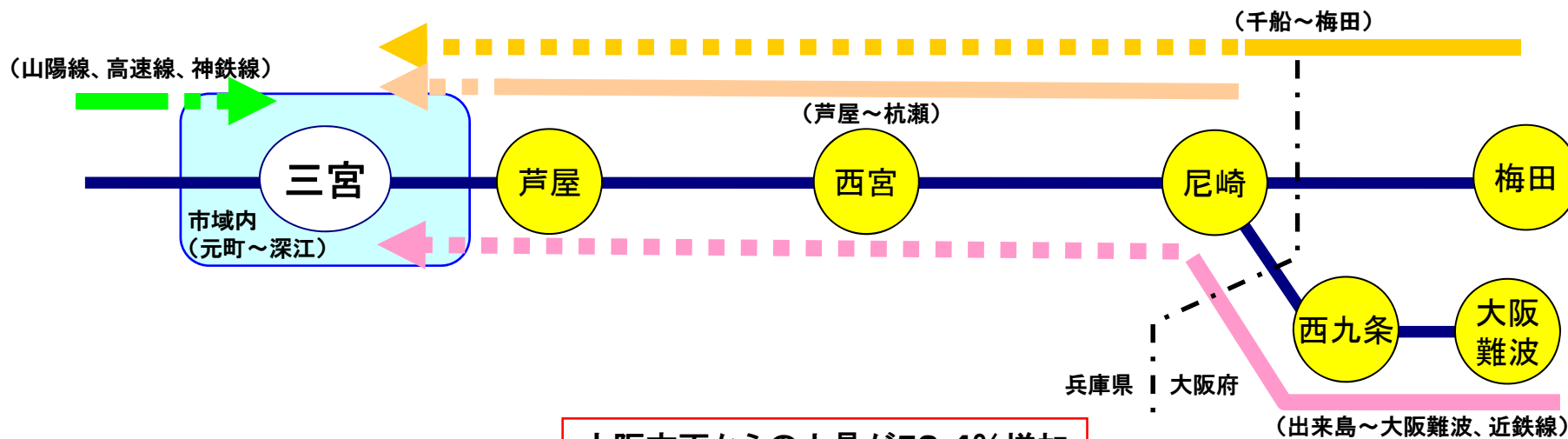


(平成20年7月13日(日) 広島戦)



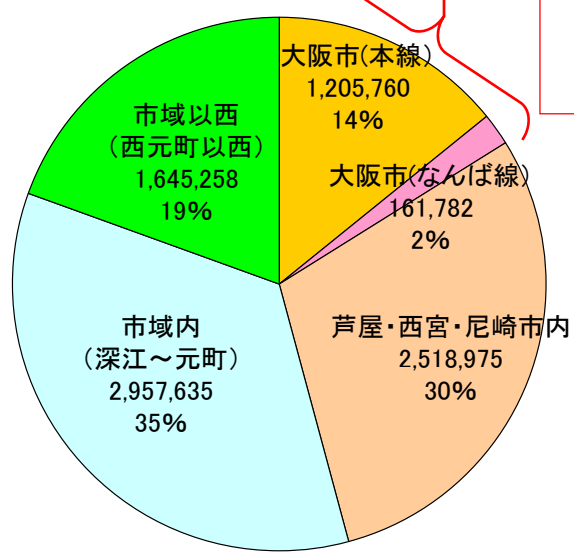
(平成23年7月3日(日) 横浜戦)

三宮駅における利用人員変化(H20・H22年度比較:定期外)

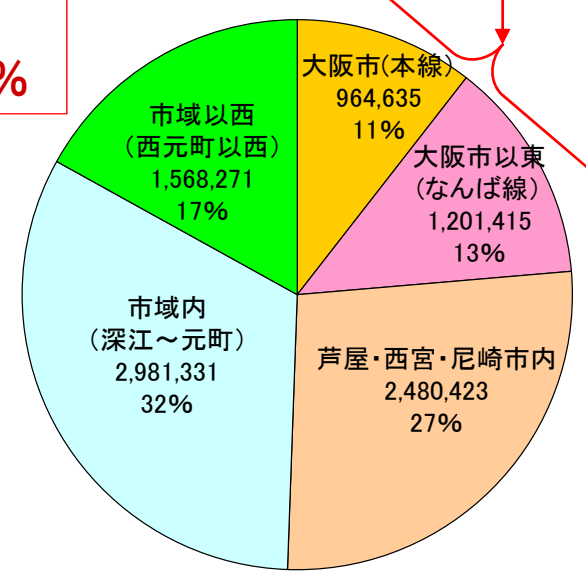
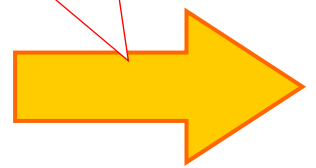


大阪方面からの人員が**58.4%**増加

大阪方面からの割合が変化
・なんば線割合 **2%→13%**



(H20年度)
降車人員: 8,489,410人



(H22年度)
降車人員: 9,196,075人
(対H20年度比 8.3%)